

校長室から
(R元年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 35

令和元年9月25日(水)発行

運動会に向けて！

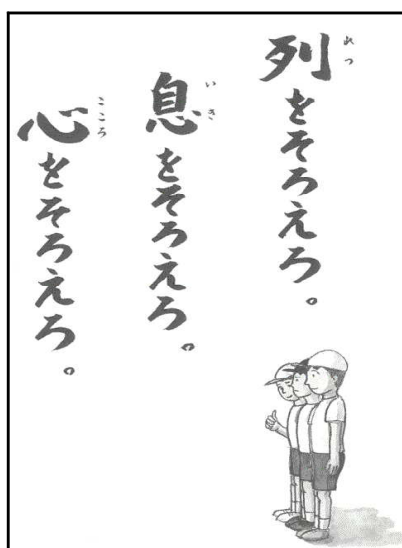
いよいよ運動会です！9月に入って一月足らず、どの学年も毎日、運動場、体育館、教室等で練習を積み重ねてきました。「ひがしなら」の「ひ」、ひとつにみんなでまとまろう！のために、4つのアドバイスを贈ります。



演技は、観てくれる人がいて、初めて演技となる。だから、観ている人にどう見えているかを考える。

ちぢめるときは、すべてを曲げる。
伸ばすときはすべてを伸ばす。背筋を伸ばす。ひじを伸ばす。指先まで伸ばす。

伸ばせば、演技は大きくなる。大きくなれば美しくなる。
できれば、カワイイ笑顔を添えて！



繰り返し、繰り返し行進の練習が続く。
繰り返し、繰り返し整列の練習をする。

そろえようとしている子は、ずっとまじめに努力している。
そろえることを気にしない子は、何度言われてもやろうとしない。
それでも続く、そろうまで。

どうせやるなら列をそろえるだけじゃダメ。
息がそろうまで。最後は、心がそろうまで。



自分たちの努力で、かなえられるものとか
なえられないものがある。

天気のような自然現象は、努力してもどう
にもならない。

しかし、演技は、ちがう。子どもたち自身
の努力でつくり出せる。

子どもたちが心をつにして努力を積み重
ねていけば、もっともっと演技に磨きをかけ
ることができるのだ。

さあ、努力を形にしてみよう！



一等賞はうれしい。二等賞だとくやしい。
ビリになったら悲しい。順位というのは、事
実。素直に受け止めなければならないのだ。

でも、大事なものは、全力をつくすこと！
一等賞は限られた人しか取れないけれど、全
力を尽くすことは、すべての人に与えられた
権利。「全力」で取組んだかどうかを、結果の
基準にするのだ。喜びの基準にするのだ。

だから、「全力」で取組んでいる人を応援し
よう。「全力」で取組んだことをたたえ合おう。
そして、全力で取組めることの喜びを味わ
おう。

運動会が近づいた。努力をして学んできた。準備も
万全。あとは、本番を待つのみ。

本番は平常心でのぞめばいい。

しかし、ちょっと待て。本番の前に、全力で気合い
を入れろ。頭のとっぺんから、足の指先まで注入しろ。
気合いだ！ 気合いだ！ 気合いだ～！
そして、当日は平常心で勝負だ！

